

2024年8月19日

住友理工、「こまきこども未来大学 2024」の講座を開催 ～エプソン販売株式会社と協働で、再生紙を活用したクラフト体験を実施～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）とエプソン販売株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：栗林治夫）は、2024年8月1日（木）に愛知県小牧市の小学生を対象とした講座「こまきこども未来大学 2024」を協働にて開催いたしました。



講座の様子



ペーパーラボ見学の様子

小牧市が主催する「こまきこども未来大学」は、同市の小学4年生～6年生を対象に企業や団体から、SDGs や社会について様々なことを学ぶ講座です。講座を行うことで「子どもたちが自分のやってみたいこと、夢を見つけるきっかけをつくること」「子どもたちが SDGs を知り、自ら社会に向けて行動できるようになること」を目的としています。

今回、多くの小学生からお申し込みいただき、当社はエプソン販売と協働にて「環境にやさしい、魔法みたいな紙の再生！」をテーマに、当社として初めて講座を開催しました。講座では、まず紙の製造方法や紙の原料である木や水の大切さを学んでいただき、再生紙の必要性を知っていただきました。そして、紙のリサイクルだけでなく、ノートや紙袋などに作り変えるアップサイクル[※]の発想や技術を用いてどのような紙製品を作りたいかといった、紙からできる SDGs を考えていただきました。

その後、エプソンの製品である乾式オフィス製紙機「PaperLab（ペーパーラボ）」を活用し、古紙が再生紙として生まれ変わる様子を見学いただきました。今回、参加者には環境活動への参加として古紙を持参いただいております、これらも今後再生紙となります。最後に、紙のアップサイクルについて学んでいただくことを目的に、ペーパーラボで古紙から生まれ変わった厚めの画用紙を用いてペーパークラフト体験（プラネタリウム作り）をしていただき、完成した作品を参加者にお持ち帰りいただきました。参加者からは「ペーパーラボで再生した紙から洋服を作ってみたい」「少量の水で再生紙が作れるのはすごい技術だと思った。地球のために、紙や水を大切に使おうと思う」といったアイデアや感想をいただくことができました。

住友理工グループは、経営ビジョン「2029年 住友理工グループ Vision (2029V)」において、「自然と都市と人の空間が繋がるグリーンで快適な社会」の実現を目指しています。地域と共生する企業として、このプログラムを通じて次の世代である子どもたちが、夢や希望をもって暮らすことができるよう、今後も貢献してまいります。

<こまきこども未来大学 特設サイト>

<https://komaki-kodomo-miraidaigaku.jp/>

<会社概要>

エプソン販売株式会社

所在地 : 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR 新宿ミライナタワー
代表者 : 代表取締役社長 栗林 治夫
事業内容 : 情報関連機器販売

住友理工株式会社

所在地 : 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JP タワー名古屋
代表者 : 代表取締役 執行役員社長 清水 和志
事業内容 : 自動車用部品をはじめとしたゴム・エラストマー製品の開発・製造

以上

※ アップサイクルとは、今あるものに新たな価値を付加して、別の用途のものに作り替えること。

--- 住友理工について ---

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェアの防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制動音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部 / 〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋
tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>